

## 運営委員会報告事項

### 1. じゃおニュースの運営方針変更（じゃおニュース関係者会議の報告）（竹内委員）

11月10日に、じゃおニュース関係者会議を行い、以下の通り合意しました。

#### 1) 会員だより

- ① 五十音順の依頼は依頼人数を4名/月に減らした上で継続する。（1月号～）
- ② 会員だより：自由投稿を始める。従来の特別寄稿は自由投稿に含める。

#### 2) 会員だよりと活動報告を増やすための努力。

- ① 執筆のテーマ例を作成し、投稿の呼びかけと共にじゃおニュース12月号に掲載。
- ② 地域の世話人会などで投稿を呼び掛ける。

#### 3) 投稿の注意として下記を書き加える。

「執筆においては、他者を尊重すると共に、法令順守やジェンダーなどの平等への配慮をお願いします。投稿が問題を引き起こす可能性があるると判断される場合は、内容の変更をお願いするか、掲載を見送ることもあります。」

### 2. HP サークルの議論の経過報告（竹内委員）

HP サークルでは、現在のホームページの見直し、将来にわたっての人材の確保など、ホームページに関連する事項について、幅広く議論している。これまでの議論を通じて、以下の意見がでていく。

- (1) ホームページは会員向けと一般向け（入会促進）の両方の機能を持っている。会員向けと一般向けでは求められる機能が違うので、二つに分けることが可能か検討する。
- (2) HP を管理・制作できる人材を育成しようとしてきた。しかし、ホームページの構築を行える人は限られており、一部に負担が集中している。今後、人材を見つけることは困難と考えられるのではないか。
- (3) 将来を考えると、HP 制作などの事務作業の負担を軽減し、活動・行事に力を入れることが大事ではないか。そこには、大きくし過ぎない。一人でやらない、みんなで作る、分担する、などの考え方が必要。
- (4) 一つの手段として、会員間の情報共有や会員向けのコンテンツをグループウェアに切り替えることで対応可能かもしれない。詳しくはさらに検討が必要。
  - ① グループウェア導入にあたっては、要件を整理すると共に、会員が対応できるかなどの準備が必要。
  - ② グループウェアを導入できれば、ホームページは、より簡素にできるので管理工数が減る。
  - ③ デジタルの力を借りて、ホームページやじゃおニュース、予定表を簡素にすることで、人材の問題なども解決できる。